

(様式7-3)

政務調査活動・先進地調査等 報告書

令和2年 2月 26日

三田市議会議長 様

本会派(私)は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	市民の会	代表者	
		議員名	美藤 和広
派遣者氏名			
視察先及び 調査事項 (調査目的)	加古川中央市民病院 公立病院と民間病院の再編・統合等について		
日 時	令和2年2月3日(月曜日)		
視察先対応者			
<p>(調査結果の概要及び所見)</p> <p>・資料は市民病院あり方特別委員会の報告書に同じ</p> <p>&lt;所見&gt;</p> <p>病院統合の前に経営統合期を入れ、2段階で統合をした。</p> <p>①統合前(平成22年度まで)</p> <p>加古川市民病院は405床16診療科 + 神鋼加古川病院は198床12診療科</p> <p>②経営統合後(平成23年度から)2病院で相互連携を行う。</p> <p>加古川西市民病院397床26診療科 + 加古川東市民病院206床14診療科</p> <p>③病院統合後(平成28年7月～)</p> <p>加古川中央市民病院600床30診療科</p> <p>それぞれの事情は資料の通りで、必然性があり、市民もほぼ納得した統合であった。現在は研修医の要望が多く、断らなければならないほど、とのこと。羨ましい限りである。</p> <p>天の時、地の利、人の和。まさにこの言葉がぴったりの加古川中央市民病院であった。</p> <p>国の公立病院再編指示の前に、一年間に短期間で計画・実行した。合併した神鋼病院は、神戸製鋼の財政が苦しい時に、神戸製鋼社員であった医師看護師を含めて合流出来た。(神戸の神鋼記念病院は、1998年(平成10年)に医療法人として独立運営している。)</p> <p>名前の通り、加古川市の中央で、交通的にも幹線の近くにあり、市民に受け入れられた。議会ははじめ、病院の需要が理解され、ほとんど反対なく、進められた点が重要である。</p> <p>三田市民病院も、地域の医療拠点として、まずは経営統合などにより地域の了解を頂き、早々に、より総合的な統合病院として再編できるよう、研究していきたい。</p>			